指摘事項回答書

|  |  |
| --- | --- |
| **第　回** | **超高層・免震等建築物構造審査委員会** |
| 件　名： |  |
| 日　時： |  |
| 場　所： |  |
| 出席者： | （評定委員） |  |
| （申 請 者） |  |
| （ＪＡＩＣ） |  |
| 提出資料： |  |
| 指摘及び検討事項（質問も含む） | 回答及び処置 | 備考 |
|  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **第1回** | **超高層・免震等建築物構造審査委員会** |
| 件　名： | 渋谷●●●ビルPJ |
| 日　時： | 令和●年●月●日　00：00～00：00 |
| 場　所： | 株式会社J建築検査センター　会議室 |
| 出席者： | （評定委員） | ●●委員長、●●副委員長、●●委員、●●委員、●●委員、 |
| （申 請 者） | ●●一級建築士事務所 |
| （ＪＡＩＣ） |  |
| 提出資料： | 1-0　委員会指摘事項回答書1-1　●●●に関する検討書1-2　●●●に関する検討書 |
| 指摘及び検討事項（質問も含む） | 回答及び処置 | 備考 |
| ・柱と梁の降伏耐力比はどの程度になっていますか。・梁の曲げ耐力はどのようにして算定していますか。・00㎜の角型鋼管はどこの部位に使用しているのですか。・上部構造、基礎構造、隣地境界等の相互のクリアランスを、図面上明確にしてください。・フェールセーフ機構は設けていますか。・積層ゴムアイソレータ―の大変形時の沈み込み量はどの程度ですか。 | ・梁降伏型となっていますが、数値としては次回部会にて報告します。・フランジのみで算定しています。・耐震間柱まわりに使用しています。・了解しました。・設けていません。・沈み込み量は㎜単位の変形であり、現在設けているクリアランスが上下方向に00㎜であることから、衝撃（接触）は起こらないと考えています。 | 追加資料1-2　P.53設計説明書 |

**回答は全ての検討事項等に対してご記入をお願いします。**

**（「検討します。」等でも可）**

**どの資料のどこを見ればよいか分かるようにご記入ください。**

**箇条書きでなく具体的に文章（口語可）でご記入ください。**

**質問者の氏名は不要です。**

**記載例**